

中央大学 2026 年度特別入試 【解答・解答例】

試験方式	英語運用能力特別入学試験 ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語特別入学試験
学部（学科/専攻）	商学部
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する解答・解答例には、別解がある場合があります。

【解答・解答例】

（問 1）在宅勤務を大幅に認めることのメリットは、労働者のワーク・ライフ・バランスが改善し、女性など多様な人材を確保できることである。また不要なオフィスを見直せばコスト削減が期待できる。一方デメリットとしては、オンラインではブレインストーミングや質問、相談がしづらく、また偶発的な会話が創造性や問題解決につながるきっかけとなる可能性が損なわれること、働き手のモチベーションの維持が難しいことなどが挙げられる。

（問 2）仮に私は優れた IT 技術を基に、消費者に新しいタイプのオンラインサービスを提供する会社の経営者だとしよう。私は目先ではなく長期の利益を考えて、週 2 日の全員出社日を設け、残りの 3 日は在宅勤務を奨励する。常に新しいビジネスを生み出していくためには、優れた能力を持つ社員同士がブレインストーミングを繰り返す中から新しい気付きを得て、それを実地に活かしていくという方法が有効である。そのためにはできるだけ全員が同じ日に出社していることが望ましい。また、顧客と日々接する社員と技術者陣の間の連絡を密にして、いまどんなサービスが求められているのか、そのためにはどんな技術が必要なのかを社内で徹底的に議論させる。一方、新しいアイデアは異なった発想や経験を持つ人材同士が会おうところから生まれる。そのため、在宅勤務を多く取り入れることで、子育て、親の介護や健康上の理由で毎日の通勤が難しい者もチームに加われるようにする。また、社員が日々の通勤に疲弊しては、新鮮な発想の源が枯渇してしまう。社員が健康的で充実した私生活、家庭生活を送ることで前向きな気持ちで仕事に取り組めるようになるためにも、在宅勤務は重要である。

中央大学 2026 年度特別入試 【評価の視点】

学部・試験方式	商学部 英語運用能力特別入学試験／ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語特別入学試験
科目	面接試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※公開する内容については、別解がある場合があります。

※①試験問題、②解答又は解答例、③出題の意図の要素を含むものとして「評価の視点」を公表します。

【評価の視点】

本学商学部への入学を強く志望し、高い学修意欲と明確な目的意識をもって学修に取り組むことが期待できるかを確認する。

アドミッション・ポリシーを踏まえ、面接試験（日本語）における質疑応答を通じて、自らの考えを論理的に整理し、適切に表現する力を評価する。また、出願要件として英語またはドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語の一定の運用能力を有していることを踏まえ、商学分野の学修に必要な思考力、主体性、コミュニケーション能力等の基礎的資質について総合的に確認する。